

本社 東京都千代田区神田須田町2-11(協友ビル) 〒101-0041 電話03(5207)3331(代表) Fax. 03(5207)3333
大阪編集室 大阪市北区梅田1-11-4-1600 〒530-0001 電話06(6346)9958 Fax. 06(6346)9959
購読料金 1年(本体81,000円+税)
半年(本体43,000円+税)

編集 (株)重化学工業通信社
印刷
発行人代表者 吉田 耕造
www.jkn.co.jp

<本誌記事の無断転載を禁じます>

Fcnews(エフシーニュース)では工業設備新報の記事をメールにて毎日配信中、詳細はfcnews.jpを御覧下さい。

2024年1月25日(木)発行 第8975号

| | | |
|--------------|--|----|
| 工場 | ◇インターステラ、北海道でロケットの組立機能付き支社を整備 ----- | 2 |
| | ◇小糸製作所、宮城のヘッドランプ工場は2階建て3万3,000㎡ ----- | 2 |
| | ◇AGC、横浜でバイオ医薬品CDMOの開発・製造施設を新設 ----- | 3 |
| | ◇小田原エンジニアリング、新潟県長岡市で組立工場を建設 ----- | 3 |
| | ◇神戸化成、神戸テクノ・ロジスティックパークに食品添加物工場 ----- | 4 |
| | ◇ミロク、高知県南国市での猟銃工場建設~45億円を投じて1月着工 -- | 4 |
| 物流施設 | ◇ワコーパレット、千葉・袖ヶ浦ファクトリーで倉庫などを建設 ----- | 5 |
| | ◇クレドなど、東京都羽村市で賃貸用物流施設の建設に着工 ----- | 5 |
| | ◇CRE、神奈川県厚木市で賃貸用物流施設を建設 ----- | 6 |
| | ◇コンドレーテック、大阪市西区に新社屋と倉庫棟建設~投資額30億円 -- | 6 |
| | ◇ラサール不動産投資顧問、兵庫県尼崎市でマルチ型物流施設建設 ----- | 7 |
| 設備導入 | ◇わらべや日洋ホールディングス、群馬県伊勢崎市で食品工場を整備 -- | 8 |
| | ◇KHネオケム、千葉でCO ₂ 回収装置を導入~2025年1月稼働 ----- | 8 |
| | ◇JFEグループなど、神奈川で廃プラ処理会社を設立~設備も整備 -- | 9 |
| | ◇富士フイルムHD、熊本拠点に先端半導体材料生産設備導入~60億 -- | 10 |
| エネルギー | ◇東京電力HDとNTTアノード、群馬県嬭恋村で蓄電所を建設 ----- | 10 |
| 公共施設 | ◇静岡・南伊豆地域清掃施設組合、新たなごみ処理施設を建設 ----- | 11 |
| | ◇淡路広域行政事務組合、ごみ処理施設整備運営事業~実施方針公表 -- | 12 |
| | ◇奈良県御所市、新学校給食C基本・実施設計~礎建築事務所が落札 -- | 12 |
| | ◇泉北環境施設組合、廃棄物処理施設立地検討~優先交渉者パシコン -- | 13 |
| | ◇大阪府河内長野市、新学校給食センター整備運営~実施方針を公表 -- | 13 |
| | ◇滋賀県、衛生科学C整備運営~官民連携導入可能性調査の中間報告 -- | 14 |
| 事業計画 | ◇SUBARU、埼玉製作所の名称を群馬製作所北本工場に改称 ----- | 15 |
| | ◇大阪有機化学、3カ年の中期経営計画~累計投資300億円以上 ----- | 15 |
| | ◇東温市、田窪第2工業団地譲渡に関し機械製造業ヒカリと基本協定 -- | 16 |
| | ◇カシオ計算機、東京・旧東京事業所の用地を売却 ----- | 16 |
| サマリー | 一目でわかる新設情報(前号掲載案件) ----- | 17 |

＜工場＞

◇インターステラ、北海道でロケットの組立機能付き支社を整備

インターステラテクノロジズ(北海道大樹町字芽武690-4、0155-87-7330)は、北海道帯広市でロケットの組立・保管などの機能を有する帯広支社(鉄骨造り2階建て延床面積2,398㎡)を整備する。物流倉庫だった建屋を借り、2024年1月から萩原建設工業(北海道帯広市)の設計・施工で改装工事を始め、同夏頃の稼働開始を目指す。同社が開発を進める小型人工衛星打ち上げロケット「ZERO」用コンポーネントの製造本格化に合わせ、本社工場(北海道大樹町)が持つ生産機能を補完するとともに、狭隘化している本社オフィスの拡張を目的に帯広支社を新設する。また、同拠点の新設に伴い、新規の雇用も予定している。



帯広支社(提供：インターステラテクノロジズ)

新設する帯広支社は支社としては東京、福島に続く3カ所目、研究開発拠点である室蘭技術研究所(北海道室蘭市、室蘭工業大学内)を含めると4拠点目になる施設。1階はエンジンおよびエンジンを支える支持構造部、機体の胴体構造部などを組立・保管する製造拠点。2階は最大収容人数50人規模のオフィス機能とし、帯広支社で製造されたコンポーネントは本社工場に運ばれ、最終組立や各種試験などを行う。

インターステラテクノロジズが開発を進めるZEROは近年の市場を牽引している小型サイズの衛星をターゲットにした小型ロケット。民間単独では国内初となる宇宙到達実績のある観測ロケット「MOMO」で得られた知見を土台に、初号機打ち上げを目指している。

◇小糸製作所、宮城のヘッドランプ工場は2階建て3万3,000㎡

(株)小糸製作所(東京都港区高輪4-8-3、03-3443-7111)は、宮城県名取市と新工場建設に関する協定を調印し、計画している自動車用ヘッドランプ工場などの概要を明らかにした。愛島西部工業団地内の敷地面積7万8,000㎡に、第一期として2階建て延床面積3万3,000㎡の建屋を建設する。2025年着工、2027年春稼働予定で、投資額は用地代などを含めて100億円。自動車用ヘッドランプを年間50万台生産する。

現在、国内で自動車照明器の生産拠点は静岡工場(静岡市清水区)、榛原工場(静岡県牧ノ原市)、相良工場(同)、小糸九州(佐賀市)の4拠点となっている。東北地方における自

動車生産への対応、東北地方復興に加えて災害に対するリスク分散の観点から、新工場を建設する。QCD(品質・コスト・物流)の更なる向上により競争力強化・受注拡大を図っていく。

第一期の工場には静岡地区での生産品を一部移管する。新工場の立地決定に当たっては、得意先へのアクセスや労働力確保などを考慮した。また、新工場は自動化設備導入とデジタル技術活用による高効率工場とする。計画では第二期として、同規模の工場を建設してリアコンビネーションランプや電子部品を製造する。着工時期は市場動向を見て今後決定する。投資額は第一期と同様100億円程度を見込んでいる。

◇AGC、横浜でバイオ医薬品CDMOの開発・製造施設を新設

AGC(東京都千代田区丸の内1-5-1、03-3218-5741)は、AGC横浜テクニカルセンター(横浜市鶴見区)で、バイオ医薬品CDMO(医薬品受託製造)の開発・製造施設を新設する。新建屋の着工は2024年6月から9月の間で2026年の完成予定。国内CDMOとしては最大級となり、投資額は約500億円の見込みで、雇用人数はフル稼働(2030年頃を予測)時に400人程度を想定している。

新施設の特徴として、国内CDMOとして最大級の動物細胞培養槽を有するほか、パンデミック発生時にはワクチン製造に切り替え可能なデュアルユース仕様となる。海外拠点と同規模の設備を導入する計画で、これによりmRNAの世界能力は倍増、細胞治療薬は2~3割増となる見通し。これに先だって既存のR&D施設を使用し、2025年に遺伝子・細胞治療薬の開発サービスを先行して開始。2026年には新たに建設する施設でmRNA医薬品や動物細胞を用いたバイオ医薬品、遺伝子・細胞治療薬の開発・製造サービスを行う。

同社は合成医薬品やバイオ医薬品事業において、日米欧3極10拠点体制を構築しており、どの地域からもグローバルに高水準な開発製造サービスを提供できる体制を構築している。横浜拠点はこれまでR&D拠点として活用してきたが、新たに国内向けのCDMOサービスを開始する。

◇小田原エンジニアリング、新潟県長岡市で組立工場を建設

モーター用巻線設備の開発・設計・製造・販売を手がける(株)小田原エンジニアリング(神奈川県松田町松田惣領1577、0465-83-1122)は新潟県長岡市で、同設備の設計・製造を行う子会社である(株)小田原オートメーション長岡(新潟県長岡市)の工場を建設する。同施設は組立工場およびオフィス機能を持つ拠点とし、延床面積6,000㎡を計画。2024年夏の着工、2025年春の竣工を目指す。投資金額は16億円程度を見込んでいる。

世界中の自動車メーカーが車の電動化と電動車(xEV)の量産を推進しており、今後、

＜物流施設＞

◇ワコーパレット、千葉・袖ヶ浦ファクトリーで倉庫などを建設

物流機器の販売・レンタル事業を手がける(株)ワコーパレット(大阪市中央区南船場2-1-3、06-6267-0050)は、袖ヶ浦ファクトリー(千葉県袖ヶ浦市)の敷地内で物流機器の倉庫機能を主とする工場棟と事務所棟を建設する。総建築面積5,800㎡程度の建屋を建設する計画で、2023年12月8日に地鎮祭を行っており、2024年9月の竣工を予定している。



工場棟完成イメージ

建設地は2019年に稼働した袖ヶ浦ファクトリーの敷地内で、同拠点の二期工事として新たに工場棟と事務所棟を建設する。物流の2024年問題の対応などにより、需要が増加しているため、工場棟などを建設することで対応を図る。また、人数は未確定だが2棟の建設に伴い、新規雇用も想定している。

◇クレドなど、東京都羽村市で賃貸用物流施設の建設に着工

クレド・アセットマネジメント(東京都港区虎ノ門1-17-1、03-6807-5873)と相鉄グループで不動産賃貸事業などを手がける(株)相鉄アーバンクリエイツ(横浜市西区)は、東京都羽村市で計画している賃貸用物流施設である「CREDO羽村」の建設に着工した。用地7,213㎡に鉄骨造り地上4階建て延床面積1万5,248㎡の建屋を建設。2024年1



CREDO羽村

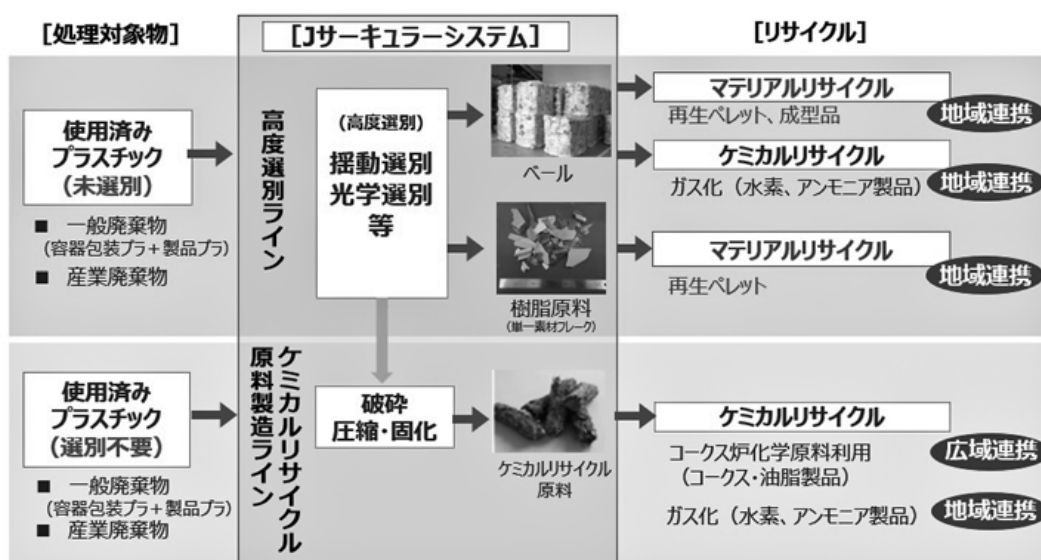
月16日に起工式を行っており、2024年11月の竣工を予定している。賃貸形式は基本的にシングルテナント向けを想定しているが、構造上はマルチテナント型(複数企業向け)も可能となっている。また、今回の案件は相鉄グループにとって初の物流施設開発で、2社は今後も継続して協力し、物流施設の開発や取得などを推進していく方針だ。

建設地は圏央道青梅ICから6km程度、中央道八王子ICから11km程度に位置している場所。圏央道経由で東名高速道路や中央道、関越自動車道へのアクセスにも優れ、広域配送拠点として利用できるほか、国道16号に近接し、神奈川県へや東京都西部への配送拠点として活用できる。さらに、倉庫業だけでなく、運送業の許可申請を行うための施設要件も満たしていることから、運送事業の拠点としても利用できる。また、JR東日本青梅線

◇ J F Eグループなど、神奈川で廃プラ処理会社を設立～設備も整備

J F Eエンジニアリング(東京都千代田区内幸町2-2-3、03-3539-7250)のグループ会社であるJ & T環境(川崎市幸区)、東日本旅客鉄道(J R東日本、東京都渋谷区)、J R東日本環境アクセス(同台東区)は、川崎市川崎区(J F Eスチールの敷地)における廃プラスチックリサイクル事業を目的に(株)Jサーキュラーシステム(川崎市川崎区、出資比率J & T環境66%、J R東日本29%、J R東日本環境アクセス5%)を設立した。同社においてプラスチックリサイクル施設(Jサーキュラーシステム川崎スーパーソーティングセンター)を新設する計画で、2024年1月4日に建設工事を開始済み。2024年10月に一部設備を稼働させ、2025年4月の本格稼働を目指す。総投資金額はJ F Eグループ全体で67億5,000万円を見込んでいる。

■ 事業スキーム



新設するプラスチックリサイクル施設はケミカルリサイクル用原料製造設備(圧縮・固化)と高度選別設備で構成され、既存の建屋(建物面積1万8,000㎡)の中に設備を導入して、整備する。使用済みプラスチックの処理能力は首都圏最大級となる200トン/日(年間6万トン)で、選別から再商品化まで一貫した事業を行う。具体的には、これまで焼却処理されていた使用済みプラスチック(一般廃棄物および産業廃棄物)を高度選別し、回収されたプラスチックは特性に応じたマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルの原料として再資源化を図る。工事の際の安全性確保などを理由にケミカルリサイクル用原料製造設備を優先して導入し、その後、高度選別ラインを導入する。ケミカルリサイクル用原料製造設備は2024年10月、高度選別ラインは2025年4月に稼働する計画で、双方の設備の稼働を本

<サマリー>

■一目でわかる新設情報(前号掲載案件)

①新工場・倉庫・研究所など

| 企業名 | 本社所在地 | 建設地 | 工期 | 投資額 | 計画概要 |
|--------------|----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------|---|
| (株)朝日ラバー | さいたま市大宮区土手町2-7-2 048-650-6051 | 福島県泉崎村/第二福島工場 | 2025/3 ~2026/3 | 4 | 医療・衛生用ゴム製品を製造する第二福島工場を増築。増床分の延床面積は600㎡ |
| 銚田・大洗広域事務組合 | 施設整備係 0291-37-5371 | 茨城県銚田市と大洗町にまたがる用地 6万5,600㎡ | 2024/3 ~2028/4 (設計含む) | 299.9 | ごみ焼却処理施設とマテリアルリサイクル施設の整備・運営事業を日立造船JVが落札。ごみ焼却施設は処理能力70トン/日。マテリアルリサイクル施設は処理能力7.1トン/日。事業方式はDBO |
| 霞ヶ関キャピタル | 東京都千代田区霞が関3-2-1 03-5510-7651 | 埼玉県越谷市 6,900㎡ | 2025/秋冬 ~2027/夏 | — | 賃貸用冷凍自動倉庫として延床面積2万711㎡の建屋を建設 |
| セイノーホールディングス | 岐阜県大垣市田口町1 0584-82-3881 | 千葉県市川市 4万569㎡ | 2024/5 ~2026/7 | — | 延床面積6万1,899㎡(倉庫面積4万426㎡)の建屋を建設 |
| (株)スプレッド | 京都市下京区中堂寺栗田町93 075-326-3850 | 神奈川県秦野市 4,800㎡ | 建設中 ~2024/6 | — | カットレタスを生産する「テクノフレッシュ秦野」を建設。日産能力は8トン。自動化を取り入れた工場とするが、新規の雇用も発生する見込み |
| セイノーホールディングス | 岐阜県大垣市田口町1 0584-82-3881 | 横浜市都筑区 1万9,278㎡ | 2024/3 ~2025/6 | — | 延床面積2万8,071㎡(倉庫面積1万4,188㎡)の建屋を建設 |
| セイノーホールディングス | 岐阜県大垣市田口町1 0584-82-3881 | 石川県金沢市 1万4,701㎡ | 2024/2 ~2025/5 | — | 延床面積1万8,949㎡(倉庫面積1万6,981㎡)の建屋を建設 |
| (株)松浦機械製作所 | 福井市東森田4-201 0776-56-8100 | 福井県越前市/武生工場 | 順次 ~2025/1 | 28 | 機械組立を行う新工場棟とスピンドル組立を行うスピンドル・厚生棟を建設。2棟合計の延床面積は8,531㎡。マシンニングセンタの月産台数を40台(20%の増産)に増強 |
| 旭化成 | 東京都千代田区有楽町1-1-2 03-6699-3000 | 静岡県富士市/富士支社 | 建設中 ~2024年内 | 150 | 感光性絶縁材料「パイメル」の新工場と品証棟を建設。2022~2030年にかけて売上倍増を目指す |